

## 2018年度とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会公開セミナー開催要綱 地域包括ケアシステムの構築に向けて多機関多職種連携を促進する経過記録法 ～ミクロ・メゾ・マクロレベルで求められる生活支援記録法(F-SOAIP)～

地域共生社会における地域包括ケアシステムおよび包括的支援体制の構築に向けては、当事者のニーズ中心の多機関多職種による効果的な連携・協働が期待され、ソーシャルケアの専門職には、根拠ある実践が「見える化」が望まれています。このような潮流において、「未来投資会議」や厚生労働省でも、「保健・医療・介護におけるデータの利活用」、「介護記録のデータ化、標準化」といった記録のICT化やケアプランのAI化も見据えた記録システム、とりわけ経過記録のあり方の重要性が提唱されています。

地域の実態に即した医療と介護の連携や地域ケア会議の展開を目的とした自治体や職能団体の研修においても「情報共有シート」の活用やSNS的な連絡調整に留まっており、経過記録については負担感のみが強調され、上記の要請に応えるものとはなっておりません。

今回のセミナーでは、経過記録の効率化と効果的活用のあり方、さらに多機関多職種連携を促進し、各専門職のやりがいや専門性向上にも資する経過記録として開発された「生活支援記録法（F-SOAIP）」を学びます。「生活支援記録法（F-SOAIP）」は、医療・看護と介護・福祉、さらには教育、司法などとの連携が求められている現在、医療・看護分野で普及している問題指向型記録（いわゆる SOAP）とも整合性を持って導入でき、筆記記録や電子記録の様式を問わず活用できる経過記録法です。本記録法の導入により、確認された記録を実践に活用することで当事者への好ましい変化や支援の質向上、記録の効率化（時間・負担感）や連携促進、労働環境の改善などのイノベーションを共有するために開催するものです。

### 記

1. 日時・会場：2018年8月25日（土）受付 9:30 開会 10:00～閉会 16:05、とちぎ福祉プラザ
2. 参加対象：協議会会員、市町関係者、保健・医療・福祉・介護福祉関係者、社会福祉法人  
NPO法人、営利法人関係者、ボランティア、社会福祉関係団体、一般市民、学生等
3. 定員・参加費：100名 会員・学生 1,000円、会員外 1,500円
4. プログラム
  - (1) 10:00 開会挨拶 とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会代表 大友 崇義  
栃木県保健福祉部長 森澤 隆様  
栃木県社会福祉協議会常務理事 小林 敦雄様
  - (2) 10:05～10:55 基調講演「包括的支援体制における情報共有ツールとしての期待  
～生活支援記録法の研修を試行して～」(仮)

講師 首長正博（栃木市保健福祉部地域包括ケア推進課 課長）

とちぎメディカルセンター整備を手掛け、国の「地域包括ケアシステムモデル事業」を栃木県で始めて導入し、先駆的取組である「在宅医療・介護連携推進事業」や「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を取りまとめるなど、保健福祉部関係の経歴が長く、2017年度から現職。市民との協働活動にも積極的で、専門職団体監事などを歴任する他、NHK放送大学の発言者としても活躍。2017年度の当公開セミナーでは、多機関多職種の情報共有のために「経過記録」の重要性を指摘している。今年度は、県の「地域包括ケアシステム構築」のあり方について24市町のトップセミナーで栃木市の実践の報告者に予定されている。

(3) 11:05～12:00 講義

講義1 生活支援記録法 (F-SOAIP) の概要

講師 小嶋 章吾 (国際医療福祉大学医療福祉学部・大学院 教授)

講義2 生活支援記録法 (F-SOAIP) の普及と展望

講師 寫末 憲子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授)

(4) 13:00～13:20 演習：4コマ漫画教材

(5) 13:20～14:10 実践報告

報告1 地域密着型サービス (小規模多機能型居宅介護事業所) における試用経験から

講師 湯澤 洋子様 (はるかぜ Group 統括ケアマネジャー)

報告2 障害者支援施設における職員研修と活用開始まで

講師 菊地 月香様 (障害者支援施設光輝舎 施設長)

報告3 介護老人保健施設の全職種活用までのプロセスと効果

講師 今井 友和様 (老人保健施設かみつが 介護主任・介護支援専門員)

報告4 電子カルテ体制下における活用の工夫

講師 小島 好子様 (自治医科大学附属病院医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー)

指定発言

コメンテーター 老人保健施設かみつが 施設長 須田 啓一様

コメンテーター 栃木県看護協会 教育研修課 課長 野澤 寿美子様

(8) 14:20～14:50 パネルディスカッション (各団体会長または研修担当)

(9) 14:50～15:30 意見共有と全体質疑応答、リフレクション

主催：とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会

栃木県社会福祉士会・栃木県介護福祉士会・栃木県ソーシャルワーカー協会・

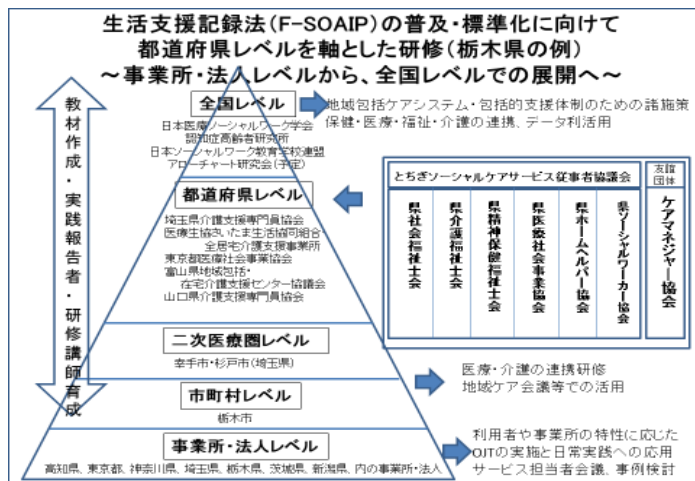
栃木県精神保健福祉士会・栃木県医療社会事業協会・栃木県ホームヘルパー協議会

連絡先：とちぎソーシャルケアサービス共同事務所

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ内 3 F

TEL 028-600-1725 FAX 028-600-1730 [tacsww@minos.ocn.ne.jp](mailto:tacsww@minos.ocn.ne.jp)

5. 後援：栃木県/栃木県社会福祉協議会/栃木県共同募金会/栃木県市長会/栃木県町村会/栃木県医師会/栃木県歯科医師会/栃木県老人福祉施設協議会/栃木県老人保健施設協会/栃木県社会福祉法人経営者協議会/栃木県障害施設・事業協会/栃木県精神衛生協会/とちぎケアマネジャー協会/下野新聞社/朝日新聞宇都宮総局/読売新聞宇都宮支局/産経新聞宇都宮支局/毎日新聞宇都宮支局/栃木放送/エフエム栃木 (予定)



シルバー新報の編集部が取材予定です。